



行發日五十二月四... (Publication info)

電氣町管問題

熱東生

町管段取... 準備調査(下)... 財界より押し見れば、先ず見込は立てられないと思ふ。

島田忠夫

白瓶の梅枝へにけりこの一日やすみを得つる心構へに... 茶に呼びし島の農夫に強ひられて佛見にくくこの村の寺へ



拈華微笑... の差し出し町... 祟られ寂しく漸高、扱て二千兩の金を纏う好からう。

元禄名妓傳

小邑井小巴演... (宮野恒彦書)

一日一禪

門前線樹無鳥... (宮野恒彦書)

今日午後の番組報告

知事演説... (番組報告)

象通報

告知事項... (象通報)

歩調

句警代時... (歩調)

通報

象通報... (通報)

仙臺JOHKK

△前九〇〇九二〇〇A... (仙臺JOHKK)

料理(豚肉と野菜の白和)

△九一〇〇九三〇〇A... (料理)

雨傘と日傘... 完全防水マント... ツルヤ

トケイメカネ... 新學期が始まりました。

大谷時計病院... 電話一九番

胃腸科... 皮膚科... 三井呉服店

三井呉服店... 電話二八四番

上野病院... 入院隨意(自炊の便あり)

山崎合名会社... ヤマフル醸造元

大和田醫院... 耳鼻咽喉科専門

生徒募集... 和服一般婦人洋服

藤沼醫院... 内科、小児科、入院應需

吉田眼科病院... 平町紺屋町

精幸堂時計店... 九二路小籠才町平線岸海

數町村が入り亂れて 利益保全の暗躍

藤原川改修の起工順に就て 去就に悩む土木當局

藤原川、小名濱、玉川を生命とする同方面では非玉川部、藤田田組合等關
實流する藤原川は五年度工事に重大視してゐるもので保町長等連署して昨二十
事とし工費三萬圓を以て警備が最近破損の程度甚だ四日平土木監督所並に縣當
崎村下船尾同西郷間の河川しく人馬の通行に支障を來局へ三回目的陳情書を提出
改修工事を完成し今後氾濫に至つたので改修期成同したが財源抽出上當局でも
の禍因を根絶から除去され盟會を組織し會長赤津庄兵大分困つてゐるらしいと
たので沿岸住民は一方なら衛兵をばし大平勿來、兒
す喜んでゐるがこれと反對
に下流玉川村住吉附近沿岸
は他方面より堤防も比較的
低く例年降雨に於ける堤
防欠損の損害實に莫大なる
のであるが六年度工事とし
て之れが改修工事を起すべ
く縣に認可申請中の處昨二
十四日平土木監督所宛に正容の各種の求職者に對しては今日まで總計四百五十名
の指令があり茲數日中同れが住み口の開拓に不斷のに達してゐるが途中希望を
地方の失業者を採用して總努力を拂ひつゝある一方今撤回したものも可なりあつ
て五千圓を以て着工する事餘名の少年に對して夫々適中前約半数の紹介状を出
となつたが又その下流に於ける職工を發見すべく至つたもので時節柄非
同様の被害少なからざるを涉した結果少年職業紹介の予備の半数も来月一ばい
理由に今月中に入つてから事務開始以來今二十五日迄で大体決定迄に漕ぎつけ
も村長、村議等が前後二回
求人先へ紹介状を發したるいと云ふ意氣込みで紹介所前回の時と同様消防組の
に互り監督所へ出頭陳情にも中央地方を通じ合計四近來の努力振りは素晴らし
及んだ外上流岩崎村西郷同十六名に達しその多くは何いものである
落合の住民は玉川村住吉方
面を六年度事業として先に
着工する事となり豫算の關
係上で流は西郷迄として工
事を一時中断する事となつ
た結果工事の延長進行を死
に込めた住民は其間大に期
待に反する事となつた爲此
際其筋の工事計画通り住吉
方面の改修を進む傍ら是非
非落合方面延長五百圓工費
二萬圓の工事も亦續けて欲
しいと二十五日土木監督
所に陳情に及んだが他方面
からの陳情もあり財源不足
の爲に當局は目下去就の決
定に悩んでゐる

少年職業紹介の 全部が決定可能

半数は求人先と折衝中 他も来月中開拓の見込み

平町土木委員会は既報の如
く昨二十四日午前十時より
町長室に於て開催、松ヶ岡
公團つゝ季節の點燈問題
に就いて協議の結果急々來
月一日より同月中一ぱい點
燈する事に決定した、而し
燈数は昨年は
五百燭光の照明装置七個
十燭光四十七個
であつたのを今年が高燭
の増加を減じ十燭光の雪洞
を増加する等で廣告募集は
活動に俟つ事となつた、尙
ほ福島白河間、仙臺水戸間本縣男女兩聯合青年團總會
平若松間、沿線各方面に對して既報の如く二十六日(男)
する勧誘の輪が、ガキは本日二十七日(女)の兩日郡山市
中夫々發達の運びとなつた公會堂に於いて盛大に開催
川前の岩崎
毎日曜の賑ひ豫想
川前深谷の岩崎が夏井
の清流に映發するの美觀
は例年この季節中に在つ
て少なからず車窓の人の
世界を動かし縦には不朽の文章報國の新聞人にも麻雀と將棋と
思想を傳ふ「トルストイ」の「さび」が、霧へ引つかるC、B、A、は
が道破した千古の名言です 深い夜更け玉輝き歸りにお
之一世を震撼する所謂「花見の宴會歸りに、目をうつ
ては、拾ふすまを造つ サインのクラブへ吸ひ込
ではない筆ぶすまを造つ サインのクラブへ吸ひ込
てゐる我等の平町こそ石炭を以て行くA、B、C、
の町、エロの街である外實 麗な月が仲天に輝つて
に言論の町を以て文章の町を以て春の夜の法悦が限なく流れて
であらねばなりません、發しては萬葉の美事となり、
つては百鍊の鐵となる珠玉あります、かくして新聞人
の明文は赤井の秀峰、夏井はついで朝寝坊になつちまふ
から數多く生み出されます

小姑連の監視に 行きの悩む吏員補充

臨時雇の昇格を主とする 平町役場の方針

平町役場に於て過般進行し員補充に就ては先年來各
方面の改修を進む傍ら是非
非落合方面延長五百圓工費
二萬圓の工事も亦續けて欲
しいと二十五日土木監督
所に陳情に及んだが他方面
からの陳情もあり財源不足
の爲に當局は目下去就の決
定に悩んでゐる

景風新町平 麻雀と將棋と

慌だしい寸閑を偷む 新聞人の手すさび

三回目
改修
地方に大關係の
三株停車場
川部村三坂白坂田村南大
出でゐるイヅニングペー
平間の縣道(延長百圓)三株
停車場は木材、木炭の唯
一の運搬道路でこれ等林業

町長の手許に山積してゐる新規に採用する餘地少く
三十餘名の履歷書中果して外部より採用するは彼此結
何人がその選に入るか例の局二名位ではないかと觀
小姑の感情に支配されつつ察するが之れとて之際
ある一部有志等に於ては役は採否を決定する時は其れ
場當局に於ける虚心坦懐の爲各方面に種々面倒なる
詮衡振りし對し或る種の製空気を捲き起す虞あり
肘を加へんとするらしい形町長の意向としては事務
の勢を取らざるが差當りの諷刺を來さざる限りに於て
補充方針としては從來臨時雇分を見ざる外に臨時
雇等の名目も以て採用中の経過を俟ち整理整頓の風
事務整頓家を本吏員に昇格許が下火になつてからに
採用するので大体一人娘に於けるではないかと觀測され
婦八人の多數希望者中よ

二百種二千餘株の 妍に映ゆる松ヶ岡

點燈は来月朔日から 昨土木委員会で決定

平町土木委員会は既報の如
く昨二十四日午前十時より
町長室に於て開催、松ヶ岡
公團つゝ季節の點燈問題
に就いて協議の結果急々來
月一日より同月中一ぱい點
燈する事に決定した、而し
燈数は昨年は
五百燭光の照明装置七個
十燭光四十七個
であつたのを今年が高燭
の増加を減じ十燭光の雪洞
を増加する等で廣告募集は
活動に俟つ事となつた、尙
ほ福島白河間、仙臺水戸間本縣男女兩聯合青年團總會
平若松間、沿線各方面に對して既報の如く二十六日(男)
する勧誘の輪が、ガキは本日二十七日(女)の兩日郡山市
中夫々發達の運びとなつた公會堂に於いて盛大に開催
川前の岩崎
毎日曜の賑ひ豫想
川前深谷の岩崎が夏井
の清流に映發するの美觀
は例年この季節中に在つ
て少なからず車窓の人の
世界を動かし縦には不朽の文章報國の新聞人にも麻雀と將棋と
思想を傳ふ「トルストイ」の「さび」が、霧へ引つかるC、B、A、は
が道破した千古の名言です 深い夜更け玉輝き歸りにお
之一世を震撼する所謂「花見の宴會歸りに、目をうつ
ては、拾ふすまを造つ サインのクラブへ吸ひ込
ではない筆ぶすまを造つ サインのクラブへ吸ひ込
てゐる我等の平町こそ石炭を以て行くA、B、C、
の町、エロの街である外實 麗な月が仲天に輝つて
に言論の町を以て文章の町を以て春の夜の法悦が限なく流れて
であらねばなりません、發しては萬葉の美事となり、
つては百鍊の鐵となる珠玉あります、かくして新聞人
の明文は赤井の秀峰、夏井はついで朝寝坊になつちまふ
から數多く生み出されます

石城の代表選手 男女青年團總會

粒選りの新鋭を集むる 意見發表

石城郡下の新鋭者連
武徳會から通知された
作湯本、岩萬の助(内
郷)、高橋長兵衛(湯本)
△二段、荒井喜一郎(平
郷)、山田善雄(好問)、麻
原吉五郎(平商)、志賀孝
男(好問)

大浦村農會 役員選舉了

役員選舉了 片寄

大浦村農會ではこの程總代
間に關する件(石城)
一、滿州守備兵に對し慰
問に關する件(石城)

相手の目を突き 散々に殴り飛ばす

内郷の凄惨喧嘩表沙汰に 桑の木のもつれて 女房同志渡り合ふ

内郷村白水山炭礦坑夫湯然短刀様なもので己己の助
川代助(三)は総堀坂木賃宿左眼をつき同人の逃げ出し
吾妻己之助(也)二十九日同たのを追つて路傍の下水溝
村神光院に於て監會議が催に突き落しメチャクに殴
られた折些細なことから口打合せし己己之吉から今
論を始め激昂した代助は突二十五日平署へ告訴された

される平、川前間往復
車賃八十六錢有効期間四
日、尚ほ新緑を浴びて自
動車のドライブも妙であ
る
大々的に
道路愛護
監督所準備中
来月一日は道路愛護デーに
當つて居るので平土木監督
所では大々的に之れが宣傳
をなす計劃で目下準備中
あるが現在郡下には青年團
或は有志に依つて組織され
てゐる愛護団体が二十有三
を算し何れも相當の成績を
収めてゐるので前日三十日
監督所内に此種各団体代表
者の會合を求め宣傳に關す
る町村當局と協力しポスタ
ル出入を設つてゐるが本
年もそろそろその季節に
なつたので好時の日曜を二
班とし自動車六臺を以つ
て利用し一日の遊樂を計劃
する向も出て來た模様で徹
底的宣傳に努める事とな
當分毎日曜の賑ひが豫想つた

武徳會から通知された 石城郡下の新鋭者連

作湯本、岩萬の助(内 郷)、高橋長兵衛(湯本) △二段、荒井喜一郎(平 郷)、山田善雄(好問)、麻 原吉五郎(平商)、志賀孝 男(好問)

鷹若様 懲一二年

けふ判決言渡 不景氣に萎え切つた地方人 館内安治(平)、桐原英純を 煙に捲いた鷹若様三井歌 矢野清市(赤井)、浦本清 三三(澤田)は既報 郎(赤井)、佐藤武雄(平) 菅野四郎(湯本)、矢吹佐 富(神谷小學校)、渡邊源 決言ひ渡したつた

相手の目を突き 散々に殴り飛ばす

内郷の凄惨喧嘩表沙汰に 桑の木のもつれて 女房同志渡り合ふ

内郷村白水山炭礦坑夫湯然短刀様なもので己己の助
川代助(三)は総堀坂木賃宿左眼をつき同人の逃げ出し
吾妻己之助(也)二十九日同たのを追つて路傍の下水溝
村神光院に於て監會議が催に突き落しメチャクに殴
られた折些細なことから口打合せし己己之吉から今
論を始め激昂した代助は突二十五日平署へ告訴された

相手の目を突き 散々に殴り飛ばす

内郷の凄惨喧嘩表沙汰に 桑の木のもつれて 女房同志渡り合ふ

内郷村白水山炭礦坑夫湯然短刀様なもので己己の助
川代助(三)は総堀坂木賃宿左眼をつき同人の逃げ出し
吾妻己之助(也)二十九日同たのを追つて路傍の下水溝
村神光院に於て監會議が催に突き落しメチャクに殴
られた折些細なことから口打合せし己己之吉から今
論を始め激昂した代助は突二十五日平署へ告訴された

の賃銀は不景氣の爲非常に
安く一日八十錢と云ふ僅少
にて一日休めば朝口に困
折柄の料理屋には夜死問
十二時迄も三味太鼓にて
三人の子供と妻と四人を
扶養せねばならぬ責任を
つて居りますが吾々労働
の勞働をなすに非常な疲
赤井
昔の耽溺兒
子を養つて逝く
腹不
動堂を四五年前からの宿
してゐた乞食鈴木政治郎
三は若い時代の放埒から
烈な性病に冒され去る二十
四日朝死したが同人には
一子金松元)があり同村で
保護を加へてゐる

平町人事

△出生 立町四三沼郡高田町高 田甲二九〇四木崎千代 四軒三子 四軒四茨城縣取郡龍

高久病院

院長 高久忠 平町町電五三

前田醫院

院長 前田清美 植田町電話二二四

安齋科醫院

平町町電 電話四七五番

良品廉賣に勝る 商略なし

磐城セメント特約代理店
釜屋商店
電話九番 九九番
磐城國一町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

レコードの 石炭大廉賣!!!

正味十貫目一俵 金井錢也
品が良く値段が安い
本店は此度超破格で格安石炭を販賣開始致
御注文は
電話二二七番
電話二二七番
電話二二七番

セダン揃ひで!

昭和三十六年
三四三番

川井内科診療所

平町南町六五(電話一八一番)
女醫士 川井重子
女醫士 川井安子

木村病院

産科。婦人科 院長 木村寅次郎
平新川町十九
電話一六四番

木村外科醫院

内臓外科 一般 (入院隨意)
外科花柳病科
平町六丁目(橋際)
電話三〇九

前田醫院

院長 前田清美
植田町電話二二四

安齋科醫院

平町町電
電話四七五番

高久病院

院長 高久忠
平町町電五三

セダン揃ひで!

昭和三十六年
三四三番

川井内科診療所

平町南町六五(電話一八一番)
女醫士 川井重子
女醫士 川井安子

木村病院

産科。婦人科 院長 木村寅次郎
平新川町十九
電話一六四番

木村外科醫院

内臓外科 一般 (入院隨意)
外科花柳病科
平町六丁目(橋際)
電話三〇九